

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-35	小学校	算数科	算数	2
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2・東書	算数・201 算数・202	新しい算数 2上 新しい算数 2下	考えるって おもしろい! 考えるって おもしろい!	

1. 編修の基本方針

豊かな学びが未来を拓く

私たちは、子どもたちに、予測困難な未来の社会に主体的に関わり、自立した人間として幸福な人生とよりよい社会を実現してもらいたいと願っています。

そして、算数科に対しては、数学的な視点から物事をとらえ、統合的・発展的に考えることに加えて、創造性を追求したり、自他の価値を尊重し真理を求め続けたりする態度などを培うことが期待されていると考えます。

本教科書は、教育基本法の理念を踏まえ、算数科における主体的・対話的で深い学びを具現化し、未来を拓くために必要な資質・能力の育成をめざして編集しました。

特色

1

考えることが、
ますます
楽しくなる

数学的な見方・考え方を働かせ、
学びをつなぎ、深める。
そして、考えることを楽しむ。
このような学習過程の実現をめ
ざしました。

特色

2

学んだことを、
いろいろ
生かすことができる

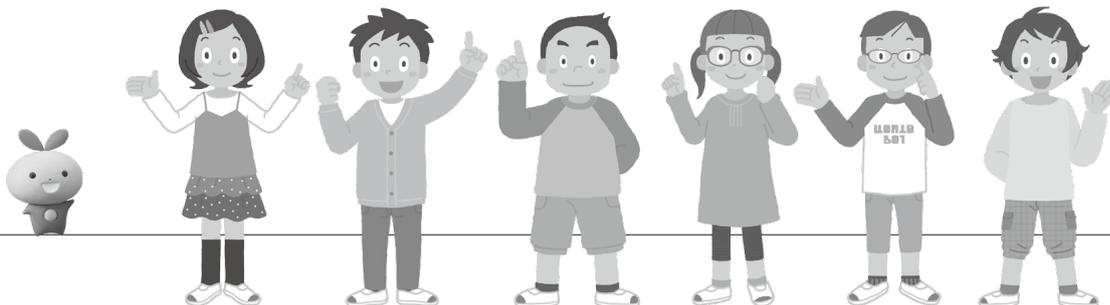
学んだことを、算数の学習や身
近な問題の解決に生かし、生き
て働く知識や技能に熟達する。
学びを生かす力の育成をめざし
ました。

特色

3

これからも、
どんどん
学び続けたいくなる

学びをふり返り、学びの価値や
自身の成長を実感し、新たな課
題をつくり出す。
粘り強く学ぶ心、学び続ける心
を強くすることをめざしました。

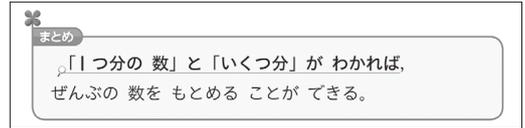


考えることが、ますます楽しくなる

1 授業の「まとめ(🍀)」で、数学的な見方・考え方(🔍)も価値づけます

授業のまとめでは、用語の意味や計算方法など知識や技能だけではなく、問題解決の過程で働かせた数学的な見方・考え方を、🔍を付して価値づけました。数学的な見方・考え方を意識することで、深い学びやより確実な理解につながり、考えることがますます楽しくなります。

なお、問題解決の過程においては、まとめで価値づける数学的な見方・考え方の伏線となる補助発問(①)や吹き出しにも🔍を付しています。



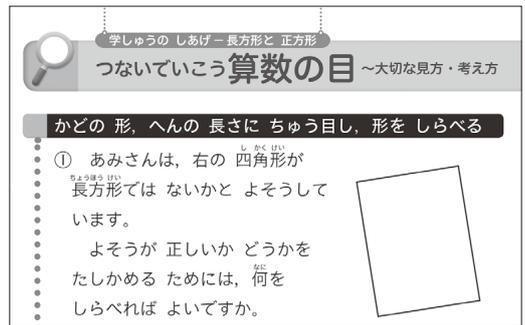
(下p.7)

2 単元末でも、数学的な見方・考え方を価値づけます

単元末では、特に成長させたい数学的な見方・考え方に焦点を当ててふり返るページ「つないでいこう算数の目」を新設しました。

学習の出口を、答えを求められるかの確認にとどめることなく、数学的な見方・考え方の成長を支えます。

また、ご指導経験の浅い先生も、本ページを参照することで、本単元で成長させたい数学的な見方・考え方をつかみやすく、教材研究の効果・効率の向上を支援します。



(上p.116)

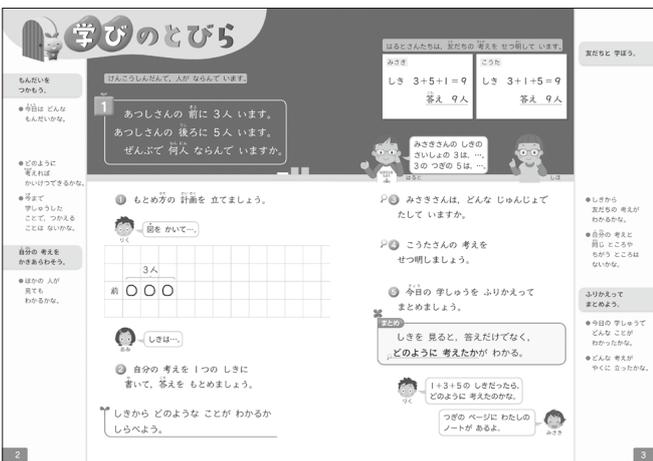
各問題のタイトルでは、何に注目し、何を考えるのかを明示しています。

2 学んだことを、いろいろ生かすことができる

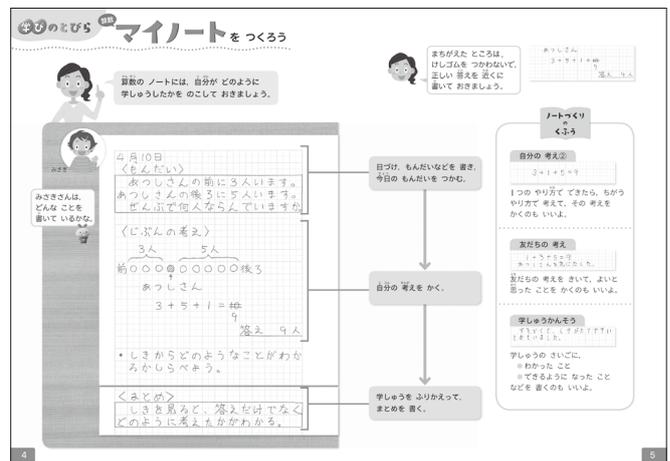
1 巻頭ページ「学びのとびら」で、“学び方”をふり返ります

問題解決の過程における大切な視点やノートづくりについて、前学年の学習を題材とした実際の授業を通してふり返ることができるようにしました。

このことにより、1学年までに培った学び方を、2学年での学び方につなぎ、生かすことができます。



(上p.2~3)

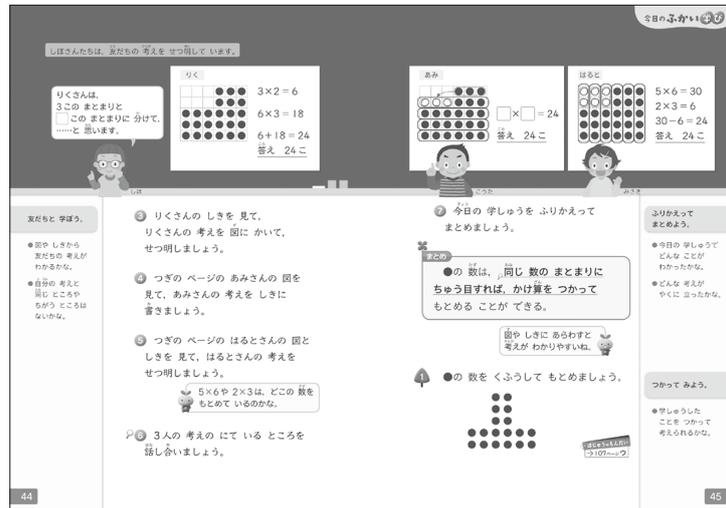
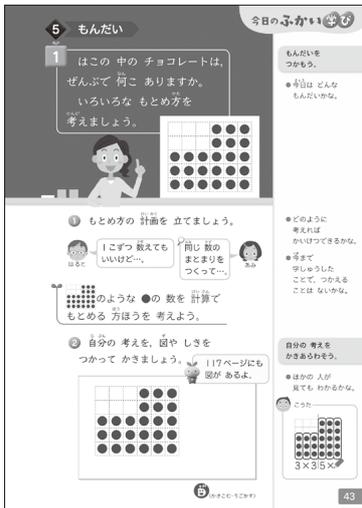


(上p.4~5)

2 毎日の授業で、既習を生かして新たな問題を解決する力を育てます

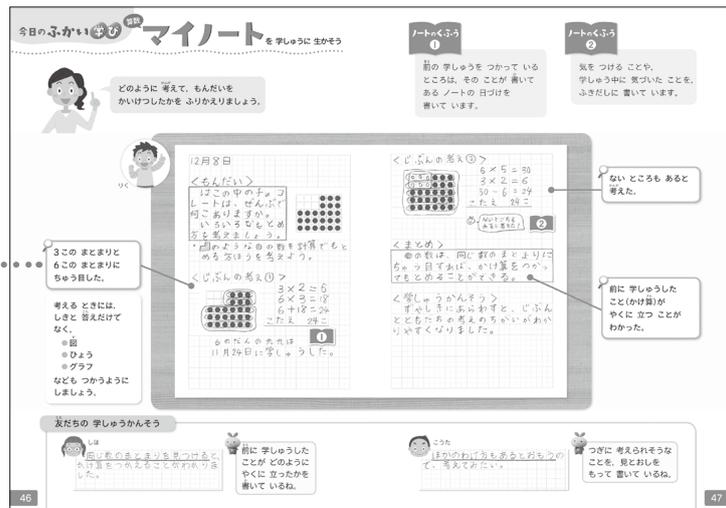
本教科書では、「どんなことに注目し、何をどのように生かして問題を解決すればいいのか」を考え実践する経験を重視しています。そこで、例えば、数学的活動を分かりやすく可視化したページ「今日のふかい学び」では、側注で既習の想起を促したり、ノートを使って既習を生かした学びをふり返ったりすることを例示しました。

本教科書の補助発問(1)や吹き出し等を用いて、既習を生かして新たな問題を解決する経験を積み重ねることにより、学びを生かそうとする態度や学びを生かす力を育成することができます。



(下 p.43~45)

ノートの活用例として、問題解決の過程で働かせた数学的な見方・考え方を、ノートを見ながらふり返ることを示唆しています。



(下 p.46~47)

特色

3 これからも、どんどん学び続けたいくなる

1 次の学びを創出し学び続けようとする姿を例示しています

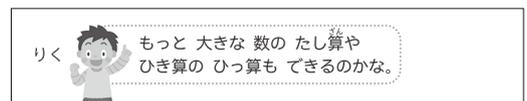
各時の終わりには、「学習のふり返り」として、次の学びをつくり出す児童の姿を例示しました。

「学習のふり返り」を用いて、学びをつくり出そうとする態度や学びをつくり出す力を育成することができます。

1 単位時間の学習の区切りのめやすとしてもご利用いただけます。



(上 p.26)



(上 p.99)

2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	学びのとびら	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え表現することを積極的に促し、自主および自立の精神を育てるとともに、創造性を培えるようにしました。また、発達段階に配慮しながら、他者の考えを数学的に解釈したり互いに考えを検討したりする学習活動を促し、個人の価値を尊重したり道徳心を培ったりできるようにしました(各単元も同様)。(第1号, 第2号) ・授業の際の規律として、自主的自立的に学ぶ段階、他者との協働で学ぶ段階、および各段階での着眼点等を例示し、授業における学び方を理解できるようにすることで、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるようにしました。(第3号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上2～3 ・上2～3
		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の日常生活を中心に多方面から素材を収集し、学びに向かう意欲を高め幅広い知識と教養を身に付けられるようにしました。(第1号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上8, 下3～4 など各単元の導入
各単元	単元プロローグ	<ul style="list-style-type: none"> ・学びに向かう意欲を高めるゲーム的な学習活動を適宜取り入れ、きまりを守りながら取り組む大切さを学べるようにしました。(第1号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上52～53, 下38など
	各時の問題や学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・動植物に着目し数を数える, 小動物にふれるなど, 生物に関わる素材を取り上げ, 自他の生命を尊重する心が育つようにしました。(第4号) ・他者と協働して行う計器づくりや測定, ゲームなどの学習活動を数多く取り入れたたり, 絵や写真は他者と協働することの楽しさなどが感じ取れるものを掲載したり, 2人組以上の活動事例を男女の組で示したりすることにより, 男女の平等や自他の敬愛と協力を重んずることができるようになりました。(第3号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上11, 36～37, 下18 ・上49, 68～69, 下25～26, 53, 71
	囲み記事	<ul style="list-style-type: none"> ・計量や九九の歴史などを取り上げ, 児童が学習で得た知識に関連づけながら, 普遍的な算数・数学のよさや日本古来の伝統に気づくことができるようにしました。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上49, 下38
巻末教材	ほじゅうのもんだい おもしろもんだい ふりかえりコーナー	<ul style="list-style-type: none"> ・個の学習意欲やつまずきなど, 必要に応じて自主的に取り組む際に用いる教材として設定し, 個人の価値を尊重しながら能力を伸ばせるようにしました。(第2号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上117～131, 下105～115

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1 すべての児童が使いやすい紙面への配慮

①特別支援教育への配慮

- ・すべての文章において、**文節改行(文節の切れ目で改行)**を徹底し、文章を読み取りやすくして、文章の読解の段階でつまずく児童が算数の学習に取り組みやすくなるよう配慮しました。
- ・問題やまとめを**枠で囲む**、**重要用語にアンダーラインをひく**などして、一目でとらえやすくなるようにしました。
- ・**ページ番号を表す数字を**、**一目で他と区別できるデザイン**にしました。

②人権上の配慮

- ・ガイドキャラクターの性別を明確にしない、男子は青色の服、女子は赤色の服またはスカートなど、固定的なイメージで性の区別をしないように配慮しました。
- ・活動場面では、男女の比率やそれぞれの役割に偏りのないよう配慮しました。

③ユニバーサルデザインへの取り組み

- ・字体は、独自に新開発したUD教科書体を採用しました。このUD教科書体は、従来の教科書体に比べてさらに太く、視認性をいっそう向上させたものです。
- ・すべてのイラスト、写真、図などを、カラーバリアフリーに取り組むボランティア団体の協力を得て全ページに渡って点検し、すべての児童に見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。

④造本上の工夫

- ・専用の軽量で丈夫な用紙の採用、上下巻分冊構成により、重量による身体的負担の軽減に配慮しました。

2 今日の課題への取り組み

⑤ご指導経験の浅い先生方への配慮(教材研究、教材準備などの支援)

- ・指導計画案、教材の解説、各時で働かせる数学的な見方・考え方の解説、展開案、評価規準、板書例、評価問題などで構成した教師用指導書を発行し、教材研究の効果、効率を向上させ、PDCAサイクルの遂行を支援します。
- ・指導者用デジタル教科書(教材)を発行し、教材研究、教材準備の効率の向上を支援します。
- ・授業の課題やまとめを原則として全時間に設定し、本時の課題や到達点をとらえやすくしました。

⑥複式学級指導への取り組み

- ・関連する内容の単元をできるだけ同時期に配置して、複式の年間指導計画を立てやすいように配慮しました(例:1年「大きい数」と2年「4けたの数」、1年「どちらがひろい」と2年「長いものの長さのたんい」、など)。
- ・巻末に「ふりかえりコーナー」を設け、前の巻までの内容を児童が自力でふり返ることができるようにしました。複式指導の「わり」などの際に有効に活用することができます(上131、下115)。

⑦道徳教育との関連への取り組み

- ・「学びのとびら」や「今日のふかい学び」の授業のページでは、他者の考えを検討する場面を示して、公平、公正に数学的な視点から検討することをいっそう可視化しました。また、「算数マイノートをつくろう」「算数マイノートを学しゅうに生かそう」では他者の考えの長所を認めたり他者を参考に自分の考えを修正したりするなど、充実した集団での学びの姿を例示し、これらを通して、道徳教育に関連した指導ができるようにしました(上2~5、下43~47)。

⑧防災、安全教育への取り組み

- ・身のまわりの四角形の例として非常口のマークや点字ブロックを取り上げ、防災・減災や安全への意識を高めることができるようにしました(上108、114)。

⑨キャリア教育への取り組み

- ・各自の役割を果たすことが重要な場面や活動例を取り上げました(上49、下71など)。

⑩カリキュラム・マネジメントへの取り組み

- ・単元末「たしかめよう」側注の区切り線にを付し、15分間使用の場合の区切りの目安を示しました。これにより、例えば、単元末「たしかめよう」を15分×2コマ、「つないでいこう 算数の目」を15分×1コマ(計1単位時間45分)に3分割して短時間学習で使用するなど、弾力的な時間割編成に対応できるようにしました。

3 その他の取り組み

⑪教育のICT化への取り組み

- ・問題解決における思考活動、統計学習の充実、かけ算九九の熟達など、学力向上をねらいとした無料^{*}のデジタルコンテンツを豊富に用意しました。コンテンツが用意されている箇所には (ディーマーク)を配しています。そして、表紙裏ではマークの意味とコンテンツへのアクセス方法を説明するとともに、二次元コード、URLを掲載しました。いろいろな端末で、簡単に使用することができます。
※デジタルコンテンツを使用する際の通信費は自己負担となります。
- ・使用する際の留意事項(使用の際には、まず先生や保護者に相談すること)を明示しました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-35	小学校	算数科	算数	2
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2・東書	算数・201 算数・202	新しい算数 2上 新しい算数 2下	考えるって おもしろい! 考えるって おもしろい!	

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色

考えることが、ますます楽しくなる

新学習指導要領では、「数学的な見方・考え方」を働かせることが学習の前提となっています。この「数学的な見方・考え方」は、単に一般的な言葉で分類・整理すれば働かせることができるものではありません。確かな教材研究に基づいた授業の文脈に即しながら明示し、価値づけることが大切であると考えます。

1 「数学的な見方・考え方」の明示を重視しています

① 各時のまとめ(✿)～授業のゴール(まとめ)が変わります

知識や技能に加え、それらを獲得する過程で働かせた数学的な見方・考え方を、🔍を付して明示し、価値づけます。このことにより、知識を統合したり、考えの共通性に気づいたりすることができ、考えること自体を楽しめるようになります。

② 問題解決の過程

各時のまとめで数学的な見方・考え方を明示し、価値づけるためには、問題解決の過程においてもそれらを価値づけることが欠かせません。

そこで、まとめにおいて価値づける数学的な見方・考え方の伏線となる児童の吹き出しや補助発問にも🔍を付して強調しました。

③ 単元末～単元のゴールが変わります

単元の出口を「知識を知っているか」「答えを求められるか」の確認にとどめず、各単元で働かせた数学的な見方・考え方に焦点を当てて振り返るためのページ「つないでいこう 算数の目」を新設しました。

各問題のタイトルでは、何に注目し、何を考えるのかを明示しています。

また、ここでは、当該の単元の内容以前の学習も含めて取り扱い、一見関係のないように見えるこれまでの学びと本単元の学びを統合的にとらえたり、数学的な見方・考え方が成長したことを実感したりすることができます。

この図は、47-15の計算過程を示しています。左側には、47を棒で表し、15を引く様子が見えます。右側には、47-15の計算式があり、40-10=30、7-5=2、30+2=32という手順が示されています。また、47-15=32の答えも示されています。

② 2人の考えを、せつ明しましょう。
③ 2人の考えの同じところはどこですか。

まとめ
2けたの数のひき算は、10のまとまりどうし、ばらどうしに分けて計算する。
🔍 10のまとまりとばらに分けて考えるのは、2けたの数のたし算と同じだね。

(上 p.26)

学習のしあげ～ひき算のひっ算
つないでいこう **算数の目** ～大切な見方・考え方

1 数のしくみにちゅう目し、ひっ算のしくみを考える

あみさんと はるとさんは、下の2つのひっ算をくらべて、にているところをせつ明しています。
 にあてはまることを答えましょう。

4	5	6	2
+	18	-	49
6	3	1	3

どちらか、をそろえて書いて計算するところは同じです。

45+18では、のくらいに1くり上げる。
62-49では、のくらいから1くり下げる。
10のまとまりをうって考えるところは同じです。

(上 p.35)

2 学んだことを、いろいろ生かすことができる

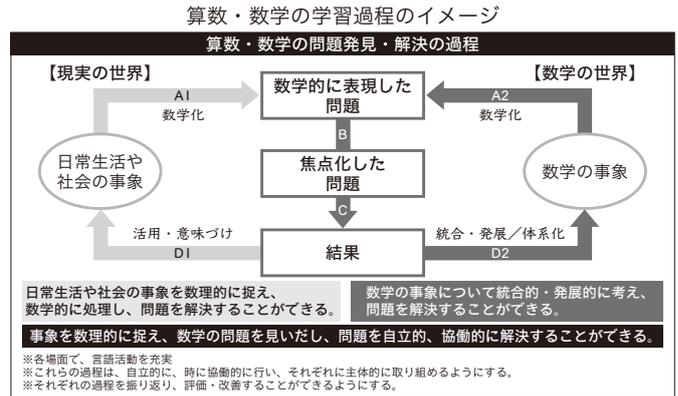
児童の学びは、学習内容の理解や熟達、学び方、問題を解決する際の着想や態度、学習規律など多岐に渡ります。新学習指導要領の教科目標の冒頭に位置づけられた“数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して”学ぶ姿の例として、“学びを生かす学び”をデザインし、具現化することで、深い学びが実現すると考えます。

1 これまでの“学び方”を価値づけ、生かすことを重視しています

巻頭「学びのとびら」では、前学年の学習範囲で解決できる問題を解決します。主体的・対話的で深い学びの一例として、“中央教育審議会 教育課程部会 算数・数学ワーキンググループ”の資料にある学習過程のイメージ(右図参照)を具現化するとともに、各学習過程における大切な視点の例、思考力・表現力の育成に深く関わるノートづくりの例を取り扱い、今後の学習に生かせるようにしました(上2~5)。

授業開きとして、**数学的活動を通して学習規律を含めてふり返し**、以後の学びにそれらを生かすことができます。

また、「学びのとびら」を継いで主体的・対話的で深い学びを具現化した「今日のふかい学び」では、授業ページを1ページ増やした3ページ構成として思考・表現する過程をより丁寧に取り扱いました(下43~47)。「学びのとびら」「今日のふかい学び」は、トピック的な取り扱いではなく、毎日の授業づくりのたたき台として活用することができます。



算数・数学ワーキンググループの資料をもとに自社で作成

2 各単元の導入で、既習をふり返し生かすことで、単元の学習課題をつくり出すことができます

各単元の導入では、日常の場面や既習を取り上げ、対話により単元の学習課題をつくり、主体的な学びのきっかけとするためのページ「単元ブログ」を設定しました。

既習事項を取り上げた単元では、既習をふり返し生かすことを通して、新たな課題をつくり出す力を育成することができます。

黄色の色網をしいた部分は、ページ上段の要素を用いて、どのような視点で対話し、課題をつくり出すのかを示唆します。



(上p.12)



(上p.13)

単元タイトルは、前ページでつくり出した単元全体の学習課題と位置づけています。

3 既習の内容や数学的な見方・考え方を、 新たな内容の熟達に生かすことを重視しています

例えば「分数」については、既習の「倍」の学習と関連づけながら(倍の学習を生かして)理解すること重視しました。このことにより、「分数」についての理解自体が深まるとともに、第4学年以降本格化する「割合」の学習の素地づくりにもなります。

アはイの $\frac{1}{2}$ 、イはアの2倍
 → イはアを1とみると2にあたる
 アはイを1とみると $\frac{1}{2}$ にあたる

倍と分数を関連づけることで、分数の理解自体が深まる。さらに、自然と割合の素地となる見方をすることになる。

ばいと 分数について 考えよう。 ほかの場合も
しらべてみよう。

3 下の ㊸のテープの長さは、㊹のテープの長さの何ばいですか。

4 上の ㊸のテープの長さは、㊹のテープの長さの何分の一ですか。

㊸の長さは、㊹の長さの $\frac{1}{2}$ ばい
 ㊹の長さは、㊸の長さの $\frac{1}{4}$ ばい

㊸の長さは、㊹の長さの $\frac{1}{2}$ ばい
 ㊹の長さは、㊸の長さの $\frac{1}{4}$ ばい

みさき

(下p.89)

4 単元の学習後にも、学びを生かす力を育てる場を用意しています

新教育課程では、数学的活動を規定するなかで、現実の世界、算数・数学の世界という2つの場における学習過程が強調されています。そこで、原則として単元の学習後に

単元末：学びを現実の世界で生かす「いかしてみよう」

巻末：学びを算数の世界で生かす「おもしろもんだいにチャレンジ」

のいずれかを設定しました。

学びを生かす経験の積み重ねが、生きて働く知識や技能の熟達や、学びを生かす力の育成につながります。また、既習が少ない低学年ほど困難になることが多い活用、発展教材の開発の一助として使用することができます。

特色

3 これからも、どんどん学び続けたいくなる

新学習指導要領の教科目標には、学習をふり返ってよりよく問題解決しようとする態度を養うことが位置づけられています。この目標の実現のためには、問題解決後に学びを価値づけ、新たな課題を見だし追究しようとする態度の育成が欠かせないと考えます。

1 各時の終わりに、学習を価値づけ、新たな学びをつくり出す児童の姿を例示しています

各時の終わりには、「学習のふり返し」として、

- ・学習を価値づける児童の姿
- ・次の学びをつくり出そうとする児童の姿

を例示しました。学習をふり返し、次の学びをつくり出そうとする態度や、その際に働かせる数学的な見方・考え方を育

成するとともに、評価の手がかりとすることもできます。なお、単元末「つないでいこう 算数の目」の脚注においても、対話により単元全体の学習をふり返し、価値づけたり、次の学習を創出したりする姿を例示しました。(下巻)

「九九をつくろう」の学しゅうをふりかえて話し合ってみよう。

みさき 九九のひょうをしらべて、かけ算のきまりがよくわかった。

こうた 九九のひょうをもっと広げて、大きな数のかけ算を考えてみたい。

50

(下p.50 「つないでいこう算数の目」脚注)

観点別特色の一覧

<p>教育基本法の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 数学的な判断に基づき他者の考えを解釈，検討することを重視しました。これにより，自他の価値を尊重してその能力を伸ばし，創造性を培えるようにしました。(全体) ● 計量や九九の歴史などを取り上げ，児童が伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。(上49，下38)
<p>学習指導要領の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校学習指導要領(総則編)の基本方針である授業改善の推進を受けて，資質・能力の育成のための優れた研究や実践の成果をもとに紙面を編集しました。(全体) ● 小学校学習指導要領(算数編)に示された目標に則り，数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通じた学習展開を重視しました。(全体)
<p>学びの 系統性・連続性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 目次では，数学的な見方・考え方の関連も加味しながら，当該学年の学習内容の前後に位置づく学習内容を明示して学びの系統性や連続性を意識できるようにし，算数の学習における学びの地図として位置づけました。 ● 単元末「つないでいこう 算数の目」では，既習の学習も含めて数学的な見方・考え方を焦点化して取り上げ，以後の学習でも働かせようとする態度を養えるようにしました(上89，下73など)
<p>組織・配列・分量</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 基礎的・基本的な内容をスパイラルに学習することに重点を置き，1つの学期に重い内容や確実な技能熟達を求められる内容が集中したり，同一領域の内容がいくつも連続したりしないように，単元の配列を工夫しました。(全体) ● 熟達に時間を要する内容は，2つの単元に分けて段階的に取り扱うようにしました。特に計算単元などは，練習の機会を増やすよう学期末や学年末の配置を避けるなどの配慮をしました。(整数の加減の筆算，乗法九九，長さ) ● 練習問題は，本時の学習内容を適用して理解の確認や技能の熟達を確実にできるように，内容と時間を考慮して適切な分量を扱うようにしました。また，本文の練習問題とリンクした巻末教材「ほじゅうのもんだい」を設定しました。このことにより，個に応じたつまずきへの対応をはかることができます。(全体)
<p>知識や技能の 熟達への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 発達段階に応じたゲーム的な活動をふんだんに取り入れ，これらの活動を通して楽しみながら熟達できるように配慮しました。(下25～26，38など) ● 各時の展開において，数学的な見方・考え方を働かせて既習と当該の学習をつなぐことを強調し，知識や技能の断片的な詰め込みではなく，発達段階に配慮しつつ体系化しながら獲得することを重視しました。(上70まとめ，下60まとめなど) ● 復習ページ「おぼえているかな？」を適宜設定しました。各種学力調査の分析結果をもとに問題を厳選し，熟達度合いを維持，向上させることができるようにしました。また，次単元のレディネスとなる問題にはじゅんひを付し，つまずきへの事前対応に活用できるようにしました。家庭学習でも活用することができます。(上38，78，84，下51，91) ● ICT活用の一環として，乗法九九の熟達のためのデジタルコンテンツを用意し，該当の紙面には🎧を配しました。デジタルならではの即時的な正誤判定機能を有し，児童が楽しく飽きずに練習できるようにしました。(下26)
<p>思考力・判断力・表現力の 育成への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 思考し，表現する学習活動を適切に取り入れました。特に，思考を操作で表現する，図や式に表す，といった学習活動を重視しました。(上2～3，下43～45，79など) ● ICT活用への取り組みの一環として，問題解決の際に活用できるデジタルコンテンツを用意しました。思考活動の時間を長く確保し，自由度高く思考することができます。当該の紙面には🎧を配しました。(上56，下39，43など) ● 思考を表現する場としてノートづくりを重視し，巻頭「学びのとびら」ではノートづくりの基本的な事項を，単元内の「今日のふかい学び」では，ノートを用いて本時で働かせた数学的な見方・考え方を主眼に学びを省察することを例示しました。(上4～5，下46～47)
<p>学び続けようとする態度の 育成への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 各時の終わりには，「学習のふり返り」として，学びを価値づけたり，次の学びをつくり出そうとしたりする児童の姿を例示しました。(全体) ● 「算数マイノートを学しゅうに生かそう」では，学びを省察し，次の学びを見通しをもって創出する学習感想例を掲載しました。(下47)

学習方法、展開の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●巻頭「学びのとびら」および「今日のふかい学び」では、数学的活動をベースに自立的、協働的な学びをいっそう具現化しました。算数の学び方、および授業づくりの参考にさせていただきます。(上2～3, 下43～45) ●毎時の学習において、焦点化された課題(🎯)とまとめ(🌀)を位置づけ、課題と到達点を明確につかめるようにしました。(全体)
短時間学習への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●短時間学習による弾力的な時間割編成に配慮し、単元末「たしかめよう」側注に15分間ずつ分割して使用する区切りの目安を、🕒を付して示しました。
他教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ●お楽しみ会、学校での募金活動などの場面を設定し、他教科等との関連を意識した教科横断的な学習をできるようにしました。(上90, 下52～53など) ●属人的な判断ではなく、論理に基づいて判断することを積み重ねることで、自他の価値を尊重する態度を養うなど道徳教育との関連に配慮しました。(全体)
教育のICT化に伴う取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●思考力伸長、知識・技能の熟達、効果・効率の向上、統計学習の充実などをテーマとし、多様な端末で使用可能なデジタルコンテンツを用意しました。(上9, 下26, 43など) ●制度化された学習者用デジタル教科書を発行予定です。ビューアによる色反転や自動読み上げ、総ルビなどの機能を使用することで、特別支援教育にも効果的です。 ●指導者用デジタル教科書(教材)、学習者用デジタル教材も発行予定です。
特別支援教育、ユニバーサルデザインへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●色数を減らして落ち着きを出し、余白を生かしたレイアウトとしました。(全体) ●新開発の「UD教科書体」を採用し、文字の視認性を格段に向上させました。(全体) ●堅牢かつ軽量の紙を使用し、重量による身体的な負担の軽減に努めました。(全体) ●拡大教科書を、文字のポイント別に複数種類発行予定です。

2. 対照表

配当時数計：152(予備時数：23)

配当月	配当時数	単元名	学習指導要領・内容名	該当箇所
				(上巻)
	1	●学びのとびら	第1学年の内容	2～7
4	3	①わかりやすく あらわそう	D(1)ア(ア)イ(ア)	8～11
	8	②たし算のしかたを 考えよう	A(2)ア(ア)(ウ)イ(ア)内容の取扱い(3)	12～23
5	8	③ひき算のしかたを 考えよう	A(2)ア(ア)(イ)イ(ア)	24～35
	2	●どんな 計算になるのかな?	A(2)ア(ア)イ(ア)	36～37
6	9	④長さを はかって あらわそう	C(1)ア(ア)(イ)イ(ア)	39～51
	12	⑤100より 大きい 数を しらべよう	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)イ(ア)(2)ア(イ)イ(ア)	52～67
7	8	⑥水の かさを はかって あらわそう	C(1)ア(ア)(イ)イ(ア)	68～77
	2	⑦時計を 生活に 生かそう	C(2)ア(ア)イ(ア)	79～83
9	4	⑧計算の しかたを くふうしよう	A(2)ア(ウ)イ(ア)内容の取扱い(2)(3)	85～89
	10	⑨ひっ算の しかたを 考えよう	A(2)ア(ア)(イ)(ウ)イ(ア)内容の取扱い(3)	90～103
10	9	⑩さんかくや しかくの 形を しらべよう	B(1)ア(ア)(イ)イ(ア)内容の取扱い(5)	104～116
				(下巻)
11	22	⑪新しい 計算を 考えよう	A(1)ア(イ)イ(ア)(3)ア(ア)(イ)(ウ)(イ)イ(ア)(イ)内容の取扱い(4)	2～24
12	17	⑫九九をつくろう	A(1)ア(イ)イ(ア)(3)ア(ア)(イ)(ウ)(イ)(オ)イ(ア)(イ)内容の取扱い(4)	29～50
1	11	⑬1000より 大きい 数を しらべよう	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(オ)イ(ア)(2)ア(イ)イ(ア)内容の取扱い(1)	52～65
	5	⑭長い 長さを はかって あらわそう	C(1)ア(ア)(イ)イ(ア)	66～73
	5	⑮図をつかって 考えよう	A(2)ア(イ)イ(ア)内容の取扱い(2)	74～81
2	5	⑯分けた 大きさの あらわし方を しらべよう	A(1)ア(カ)	82～90
	5	⑰はこの 形を しらべよう	B(1)ア(ウ)イ(ア)	92～97
3	2	●計算ピラミッド	A(2)ア(ア)(イ)(ウ)イ(ア)	98～99
	4	●2年の ふくしゅう	A～D	100～104

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-35	小学校	算数科	算数	2
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2・東書	算数・201 算数・202	新しい算数 2上 考えるって おもしろい! 新しい算数 2下 考えるって おもしろい!		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
下113	はこの形をしらべよう 問題1	1	第4学年2内容B図形(2) ア(ウ)「見取図、展開図について知ること。」 イ(ア)「図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直すこと。」	0.5

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容